

平成16年度事業報告

1. 事業の状況

超低金利政策が依然継続されているが、基本財産運用収入については早期償還のあった金融仕組債同士の銘柄入替5億を行い、86,917,965円の運用収入となった。これは前年度比△5,651,687であるが今年度予算に対しては予想以上の高利回り(4.35%)となり+12,917,965円であった。

一方支出については、大型事業実施引当金(30,000千円)を計上したことにより収支差額は△8,307,362となった。

助成事業については、PNファンド23件24,000千円(予算比△1,000千円)、自主事業14件18,760千円(予算比△6,240千円)の助成を実施した。

2. 事業の内容

(1) プロナトゥーラ・ファンド助成事業

(財)自然保護助成基金と(財)日本自然保護協会で行なう一般公募による共同助成事業。

(イ) 国内調査研究助成関係	6件	5,600千円
(ロ) 国内活動助成関係	10件	7,800千円
(ハ) 国内長期助成関係	3件	5,800千円
(ニ) 海外調査研究助成関係	4件	4,800千円
合計	23件	24,000千円

(2) 自主助成事業

一般公募以外の独自の助成事業

(イ) 国内調査研究助成関係	5件	5,400千円
(ロ) 国内活動助成関係	6件	7,010千円
(ハ) 海外調査研究助成関係	3件	6,350千円
合計	14件	18,760千円

(3) その他の事業

(イ) 第1回テーマシンポジウムの開催

“ひとと野生生物との関係を考える”

主催：(財)自然保護助成基金・(財)日本自然保護協会

共催：関西自然保護機構・(社)大阪自然環境保全協会

大阪市立自然史博物館

後援：朝日新聞社

日時：2004年6月13日(日)10:00~16:00

場所：大阪市立自然史博物館 講堂

出席者：100名超

(ロ) 第10回P.N.ファンド助成成果発表会の開催

主催：(財)自然保護助成基金・(財)日本自然保護協会

日時：2004年12月11日(土)10:15~19:00

場所：主婦会館 プラザエフ(千代田区)

出席者：100名超

平成16年度 収支計算書

(平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	平成16年度予算額	平成16年度決算額	差 異
1. 収入の部			
1. 基本財産運用収入	74,000,000	86,917,965	△ 12,917,965
2. 運用財産運用収入	50,000	24,818	25,182
3. 雑収入	0	1,469,223	△ 1,469,223
当期収入合計 (A)	74,050,000	88,412,006	△ 14,362,006
前期繰越収入差額	50,976,617	50,976,617	0
収入合計 (B)	125,026,617	139,388,623	△ 14,362,006
2. 支出の部			
1. 事業費	56,500,000	49,270,891	7,229,109
国内調査研究助成金	30,000,000	11,000,000	19,000,000
国内活動助成金	12,000,000	14,810,000	△ 2,810,000
国内長期事業助成金	0	5,800,000	△ 5,800,000
海外調査研究助成金	8,000,000	11,150,000	△ 3,150,000
事業管理費	6,500,000	6,510,891	△ 10,891
2. 管理費	16,400,000	15,748,477	651,523
人件費	9,400,000	9,402,353	△ 2,353
事務費	7,000,000	6,346,124	653,876
3. 特定預金支出	30,400,000	31,700,000	△ 1,300,000
退職給与積立預金支出	400,000	1,700,000	△ 1,300,000
事業実施積立預金支出	30,000,000	30,000,000	0
4. 予備費	300,000	0	300,000
当期支出合計 (C)	103,600,000	96,719,368	6,880,632
当期収支差額 (A) - (C)	△ 29,550,000	△ 8,307,362	△ 21,242,638
次期繰越収支差額 (B) - (C)	21,426,617	42,669,255	△ 21,242,638

正味財産増減計算書

(平成16年4月1日から平成17年3月31日まで)

(単位：円)

科 目	金 額	
I. 増加の部		
資産増加額		
当期収支差額	△ 8,307,362	
退職給与積立預金預入額	1,700,000	
事業実施積立預金預入額	30,000,000	23,392,638
増加合計額		23,392,638
II. 減少の部		
1. 資産減少額		
当期減価償却額	147,614	147,614
2. 負債増加額		
退職給与引当金繰入額	400,000	
事業実施引当金繰入額	30,000,000	30,400,000
減少合計額		30,547,614
当期正味財産増加額		△7,154,976
当期期首正味財産額		2,050,219,334
期末正味財産合計額		2,043,064,358

貸借対照表

(平成17年3月31日現在)

(単位：円)

科 目	金 額	
I. 資産の部		
1. 流動資産		
現金・預金	24,830,717	
未収収益	26,346,734	
MMF (大和証券)	20,012,222	
流動資産合計		71,189,673
2. 固定資産		
(1) 基本財産		
有価証券	2,000,000,000	
基本財産合計	2,000,000,000	
(2) その他固定資産		
退職給与積立預金	1,700,000	
事業実施積立預金	30,000,000	
什器備品	245,135	
電話架設権	149,968	
その他固定資産合計	32,095,103	
固定資産合計		2,032,095,103
資産合計		2,103,284,776
II. 負債の部		
1. 流動負債		
未払金	17,323,000	
預り金	197,418	
前受収益	11,000,000	
流動負債合計		28,520,418
2. 固定負債		
退職給与引当金	1,700,000	
事業実施引当金	30,000,000	
固定負債合計		31,700,000
負債合計		60,220,418
III. 正味財産の部		
正味財産		2,043,064,358
(うち基本金)		(2,000,000,000)
(うち当期正味財産増加額)		(△7,154,976)
負債及び正味財産合計		2,103,284,776

財産目録

(平成 17年 3月 31日現在)

(単位：円)

科 目	金 額		備 考
I. 資産の部			
1. 流動資産		71,189,673	
①現金	2,415		
②普通預金	24,828,302		
三井住友銀行渋谷支店	(24,706,137)		
中央三井信託銀行渋谷支店	(122,165)		
③MMF (大和証券)	20,012,222		
④未収収益	26,346,734		基本財産運用収入
2. 固定資産		2,032,095,103	
(1) 基本財産			
①有価証券(事業債)	500,000,000		
②有価証券(金融債)	1,500,000,000		
(2) その他固定資産			
①什器備品	245,135		
②電話架設権	149,968		
③退職給与積立預金	1,700,000		
④事業実施積立預金	30,000,000		
II. 負債の部			
1. 流動負債		28,520,418	
①未払金	17,323,000		事業費(助成金)
②預り金	197,418		源泉所得税/雇用保険料/ 住民税
③前受収益	11,000,000		
2. 固定負債		31,700,000	
①退職給与引当金	1,700,000		
②事業実施引当金	30,000,000		
正味財産 合計 (I - II)			
			2,043,064,358

平成17年度事業計画

1. 事業の状況

超低金利政策が継続している中であって基本財産運用については、昨年度と同様発行体の格付、及び元本確保型を重視しつつ高利回りの円建外債の仕組債に注力し、収益確保を計り、運用収入76,000千円の達成に努力し助成事業の拡充を図る。

事業費においては、従来の自然環境保全に資する調査・研究、活動に加えて一步拡大した大型の特別助成事業（ナショナル・トラスト創設と自然環境GISの構築）を計画、総合計76,500千円（前年度比+20,000千円）を計上し、積極的な助成事業を展開する。

2. 事業の内容

(1) 国内の活動助成関係

前年度同様、国内外の自然保護団体との提携および協力により、自然環境の保全に資する活動に対し助成金を交付する。

14件 14,000千円

(2) 国内の調査研究助成関係

前年度同様各大学の自然保護関連学部、研究機関および（財）日本自然保護協会・（財）世界自然保護基金ジャパンをはじめ、国内外の自然保護団体との提携および協力により、自然環境の保全に関する調査研究に対し助成金を交付する。

20件 20,000千円

(3) 海外の調査研究助成関係

本年度も引続き各大学の自然保護関連学部、研究機関および国内外の自然保護団体との提携および協力により、諸外国の自然環境の保全に関する調査研究団体および研究者に対し助成金を交付する。

6件 8,000千円

(4) 国内の長期調査・研究、活動助成関係

昨年度より導入した長期事業助成を本年度も引続き各大学の自然保護関連学部、研究機関及び自然保護団体との提携及び協力により、自然環境の保全に資する調査・研究、活動に対し助成金を交付する。

3件 8,000千円

(5) 創立10周年特別事業の継続

三宅島噴火後における同島の植生を中心とした生態系の保護・再生に資すモニタリング調査・研究に対し、委託研究助成金を交付する。（5年連続の3年目）

1件 1,000千円

- (6) (社) 日本ナショナル・トラスト協会と提携してナショナル・トラスト創設(および拡充)に対する助成金を交付する。(試案添付)
2件 10,000千円
- (7) (財) 日本自然保護協会が計画する自然環境GIS構築に関する調査・研究を支援するために助成金を交付する。(資料添付)
1件 10,000千円
- 以上 (1)～(7)の助成合計 45件 70,000千円

(8) その他の事業関係

P. N. ファンド助成成果発表会を12月初旬に開催の予定

以上

平成17年度 収支予算書

(平成17年4月1日から平成18年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	平成17年度予算額	平成16年度予算額	差 異
1. 収入の部			
1. 基本財産運用収入	76,000,000	74,000,000	2,000,000
2. 運用財産運用収入	25,000	50,000	△ 25,000
3. 雑収入	0	0	0
4. 事業実施引当金取崩収入	20,000,000	0	20,000,000
当期収入合計 (A)	96,025,000	74,050,000	21,975,000
前期繰越収入差額	42,669,255	50,976,617	△ 8,307,362
収入合計 (B)	138,694,255	125,026,617	13,667,638
2. 支出の部			
1. 事業費	76,500,000	56,500,000	20,000,000
国内活動助成金	14,000,000	12,000,000	2,000,000
国内調査研究助成金	20,000,000	30,000,000	△ 10,000,000
海外調査研究助成金	8,000,000	8,000,000	0
国内長期助成金	8,000,000	0	8,000,000
大型特別助成金	20,000,000	0	20,000,000
事業管理費	6,500,000	6,500,000	0
2. 管理費	16,550,000	16,400,000	150,000
人件費	9,400,000	9,400,000	0
事務費	7,150,000	7,000,000	150,000
3. 特定預金支出	20,400,000	30,400,000	△ 10,000,000
退職給与引当預金支出	400,000	400,000	0
事業実施引当金支出	20,000,000	30,000,000	△ 10,000,000
4. 予備費	300,000	300,000	0
当期支出合計 (C)	113,750,000	103,600,000	10,150,000
当期収支差額 (A) - (C)	△ 17,725,000	△ 29,550,000	11,825,000
次期繰越収支差額 (B) - (C)	24,944,255	21,426,617	3,517,638